鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2025年第40週（令和7年9月29日～令和7年10月5日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID２，小児科１，基幹定点１，ARI ２】

疾　患　名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第37週	第38週	第39週	第40週	先週からの増減	第39週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	108.00	102.50	107.50	128.50	↗	58.00	↘
インフルエンザ	30	10	10	3.50	7.00	2.50	0.50	↘	1.68	↘
COVID-19	–	–	–	15.50	5.00	10.50	11.50	↗	6.98	↘
咽頭結膜熱	3	1	–	**5.00**	0.00	**4.00**	**2.00**	↘	0.48	↘
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	–	2.00	4.00	3.00	4.00	↗	1.71	↗
感染性胃腸炎	20	12	–	4.00	3.00	1.00	0.00	↘	3.65	↘
水痘	2	1	1	0.00	**1.00**	**3.00**	0.00	↘	0.23	↗
手足口病	5	2	–	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.13	↘
伝染性紅斑	2	1	–	**3.00**	**5.00**	**3.00**	**3.00**	→	**2.77**	↗
突発性発しん	–	–	–	1.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.26	↘
ヘルパンギーナ	6	2	–	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.52	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
ＲＳウイルス感染症	–	–	–	2.00	3.00	1.00	6.00	↗	1.97	↘
全数報告（かっこ内は本年の累積数）	百日咳1（57）									

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし，　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　マダニが媒介するSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の感染が全国的に増えています。気を付けましょう。

SFTS は，2013 年に国内で初めて患者が確認されてから，例年およそ 40 人から 130 人ほど報告されていますが，本年は９月 30 日（国立健康危機管理研究機構発表）までに 161 人が報告されています。

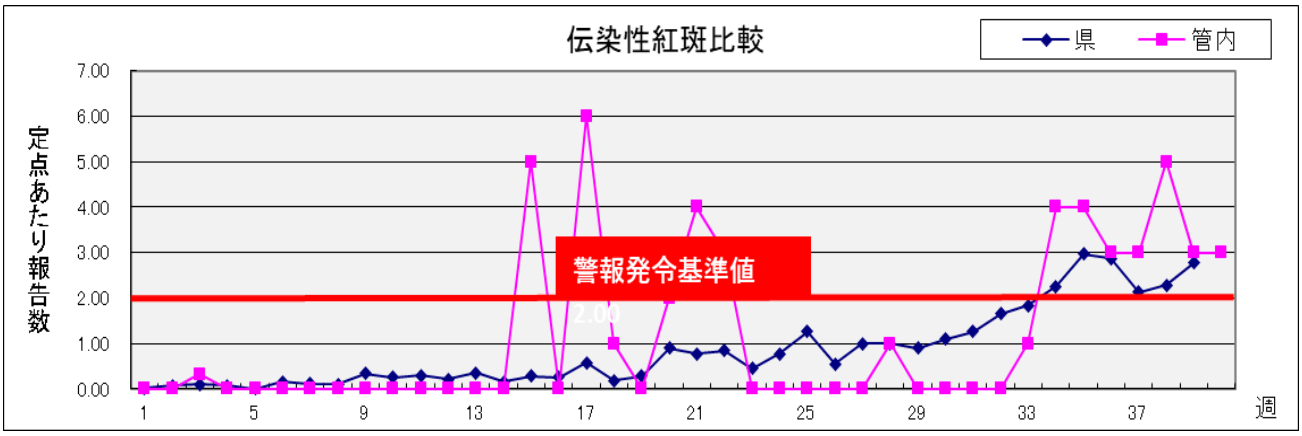
【感染経路・症状】

SFTS は，ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。また，SFTS を発症している動物との接触により感染することもあります。

【予防対策】

犬，猫，人も１番はマダニに咬まれないようにすることです。登山やキャンプ，また犬の散歩等で山林，草むら，藪などに入る場合は，長袖，長ズボン，足を完全に覆う靴を着用し，肌の露出を少なくするようにしましょう。吸血中のマダニに気付いたら無理に引き抜かないで，医療機関で処置してもらいましょう。

・伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第 40 週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は，３人でした。年齢別では，５歳（２人），３歳（１人）でした。

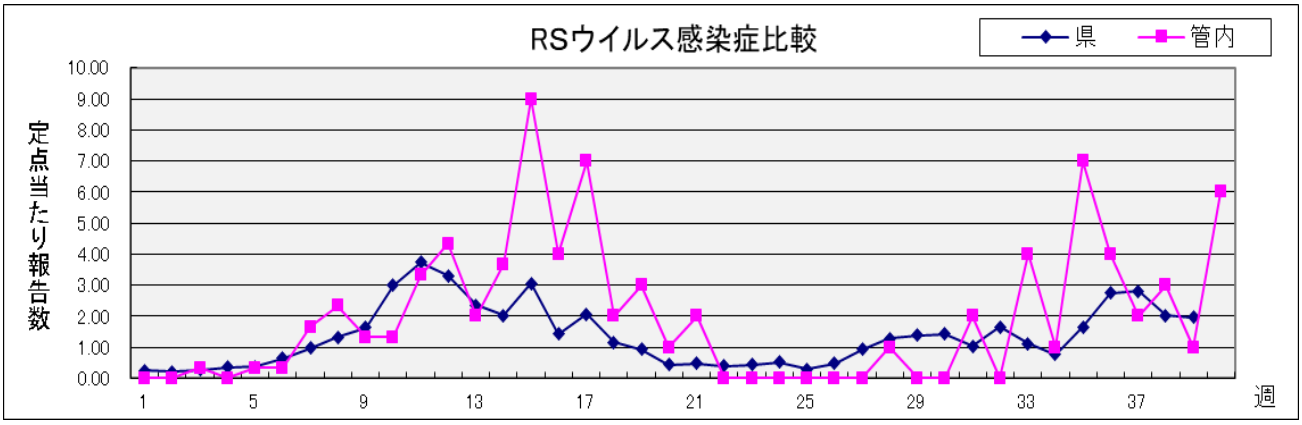
伝染性紅斑は，ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから，「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20 日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ，その後，両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は 1 週間程度で消失します。感染経路は，飛まつ感染や，接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合，胎児にも感染し，胎児水腫などの重篤な状態や，流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど，伝染性紅斑を疑う症状がある場合は，医療機関に相談しましょう。

予防方法として，患者と濃厚接触を避け，手洗い，咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ RS ウイルス感染症



第 40 週の伊集院保健所管内における RS ウイルス感染症の報告数は，６人でした。年齢別では，１ケ月～５ヶ月（３人），６ヶ月～11 ヶ月（１人），１歳（１人），２歳（１人），の順に多い報告でした。

RS ウイルス感染症は，感染してから 2～8 日，典型的には 4～6 日間の潜伏期間を経て発熱，鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症で自然軽快しますが，咳がひどくなる，喘鳴が出る，呼吸困難となるなどの症状が出現することもあり，場合によっては，細気管支炎，肺炎へと進展していきます。特に，早産児や生後６ヶ月未満での感染では重症化することがありますので，注意が必要です。

感染予防対策としては，流水・石鹸による手洗い，またはアルコール製剤による手指衛生が重要です。

○学校における感染症による出席停止の状況９/29～10/５（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は，インフルエンザが 11 人（インフルエンザ型不明７人，A 型 4 人），溶連菌感染症が２人，COVID-19 が 24 人報告されています。

疾患名 / 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	溶連菌感染症	新型コロナ感染症
日置市	1	0	2	18
いちき串木野市	6	4	0	6
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	7	4	2	24